



とくしま 県議会だより

[年4回発行]
第127号

令和7年11月9日
(2025)
編集・発行
徳島県議会

ホームページ



▲第2回徳島県議会高校生フォトコンテスト 優秀賞 脇町高等学校 おおぎし あみ さん作品「秋空」

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL.088-621-3010 FAX.088-655-2530

議会DX推進中です

徳島県議会では、ICTの積極的な活用によりDXを推進しています。

■ペーパーレス会議システムの導入

- 令和4年2月定例会から、本会議や委員会等において資料の紙配付を廃止し、タブレットで資料を閲覧するペーパーレス会議を実施しています。
- 各種資料をデジタル化し、クラウド（インターネット上の保管場所）で一元管理しているため、議員が時間や場所を問わず必要な情報を迅速に活用できるなど、議会活動の促進が図られています。

■ビジネスチャットアプリの活用

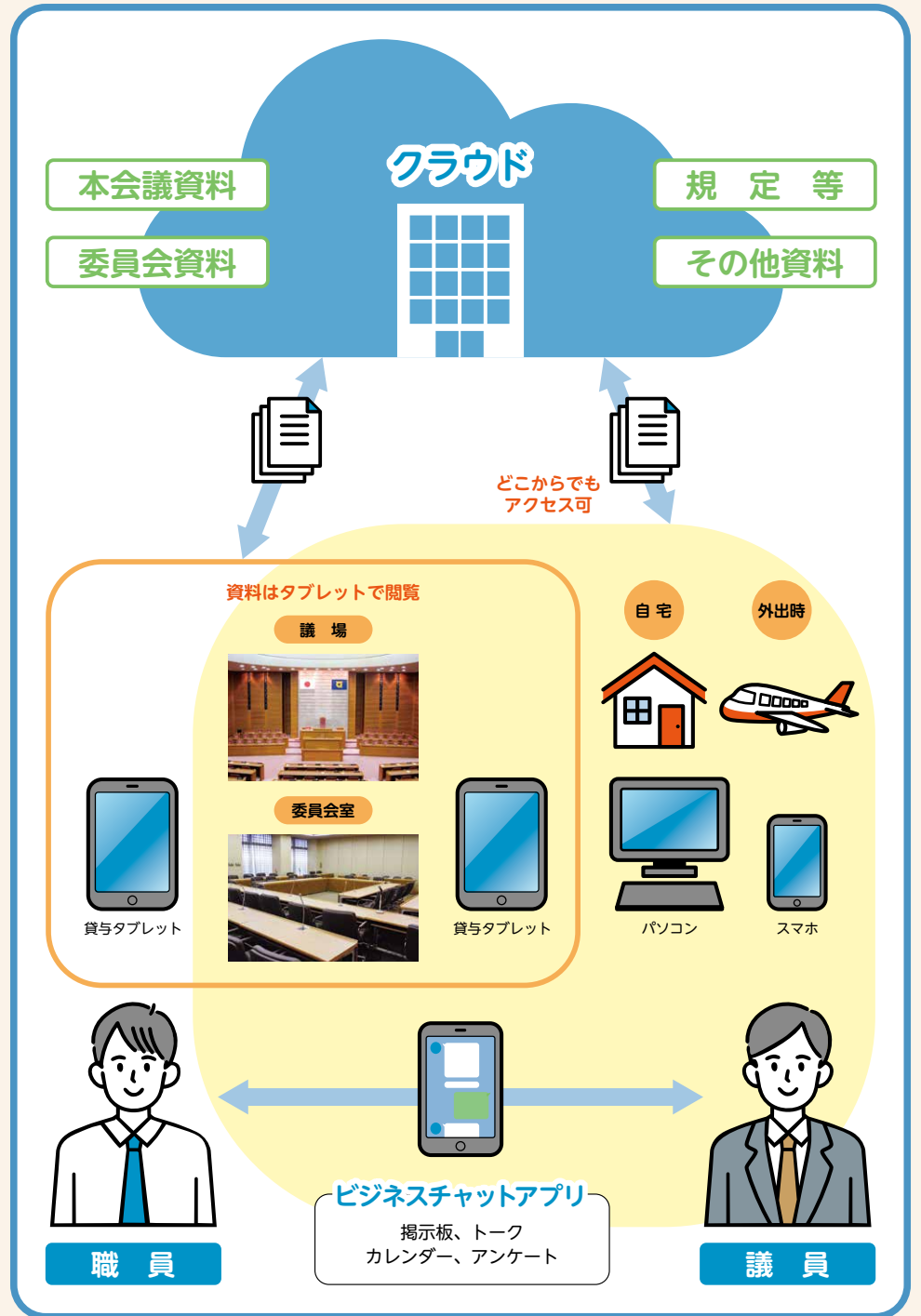
- 行事日程の連絡や災害発生時を想定した安否確認訓練の実施など、ビジネスチャットアプリを積極的に活用し、議員と事務局職員が迅速・円滑な情報共有に努めています。

■オンライン会議の推進

- 災害時や感染症拡大時でも議会機能を停止させず委員会審査が行えるよう、条例の改正や機器整備等を行い、議員が委員会にオンラインで出席できる仕組みを整えています。
- オンラインによる会議は、地理的・時間的制約を克服し、議員活動の機動性・効率性が向上することから、議員連盟の勉強会等にも活用しています。

災害等の危機に強い議会を実現するとともに、議員の活動を充実・強化させることで、より良い政策形成につなげます。

ペーパーレス会議（本会議）



9月定例会

会期 令和7年9月11日～10月7日

定例会の概要

開会日には、世界とつながる魅力的な地域づくりや、教育環境の充実などに取り組む令和7年度9月補正予算などが提案されるとともに、高速道路の安全性向上、防災・減災対策の強化、県都のまちづくり、海外との経済交流の推進などについて、知事から所信が述べられました。

代表・一般質問では、総合県民局等の再編、新ホールやアリーナの整備、コメをはじめ農産物の生産振興等の農林水産施策、保育料無償化の拡充やこどもの貧困対策等のこども・子育て施策、高規格道路の整備促進や中小河川の治水対策、インバウンド誘客等の観光施策、高校の魅力化や不登校対策等の教育施策、津波避難対策や林野火災への対応等の防災・減災対策などについて議論しました。

今定例会では、知事提出議案19件を原案どおり可決しました。

主な審議の結果

●可決された議案

○令和7年度補正予算

- 一般会計（1件）
補正予算額は62億3,788万5千円の増額で、補正後の予算は5,300億294万7千円
- 特別会計（1件）
- 企業会計（1件）

○条例の改正（4件）

- 徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例の一部改正について など

○条例の廃止（1件）

- 徳島県収入証紙条例の廃止等について

○負担金案件（8件）

○契約案件（2件）

○その他（1件）

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要

検索



代表・一般質問から

代表質問 9/18



しげ きよ よし ゆき

重 清 佳 之

徳島県議会自由民主党
海部選挙区

総合県民局等の再編は防災拠点となる体制確保と庁舎整備を

Q

総合県民局等の再編に当たっては、平時には効率的・効果的に業務を遂行し、災害時にも業務が継続でき、機能を最大限発揮する組織体制と強靱性を備えた庁舎整備が必要。

A

知事

新組織では災害時の業務継続に必要な機能と職員数の配置に努める。津波浸水区域にある美波庁舎は、防災機能強化、住民の安心度向上に資する高台移転を基本に関係機関等と協議を進める。

動画はこちら



発災時、海陽町の孤立に即応できる態勢を構築すべき

Q

南海トラフ巨大地震発災時は、津波で国道55号が寸断され海陽町全域が孤立する恐れ。最悪の事態を想定した具体的な救助・救出のシミュレーションを行い、即応できる態勢を。

A

知事

海陽町全体の孤立を想定し、資機材や特殊車両の事前配備、避難所のQOL向上等を具体化した計画を早期策定。AIドローンによる迅速な情報収集の実証実験等、先端技術も活用し、孤立対策を推進する。

その他の質問

1

一時保護施設の整備について

2

コメの生産振興について

3

海部郡の漁業振興について

4

安全・安心に出産できるための環境整備について

ほか2問

動画はこちら



代表質問 9/18



ふく やま ひろ し

福 山 博 史

徳島県議会自由民主党
徳島選挙区

アリーナは、徳島市の姿勢を確認し基本計画の策定に進むべき

Q

アリーナの実現には、徳島市の協力が不可欠。徳島東工業高校跡地の市有地の活用について、市に明確な回答を要請し、協力姿勢が確認できた場合は速やかに基本計画の策定を。

A

知事

徳島市に正式な回答を要請し、内容を吟味する。基本計画を策定する際には、管理運営も含めた整備手法を幅広く研究するとともに、様々な専門家の意見も踏まえ、機能や体制を検討する。

その他の質問

1

阿波おどりの海外派遣について

2

指定管理者制度の見直しについて

3

あすたむらんどの魅力度向上について

4

山火事への対応について

ほか3問

動画はこちら



いじめや暴力行為等を防ぐため教育機関と警察の連携強化を

Q

学校におけるいじめや暴力行為の認知件数が過去最高となっている。いじめや暴力行為を抑止し、不審者にも対応するために、教育機関と警察が平素から連携を強化するべき。

A

警察本部長

警察官による学校周辺の警戒活動等、犯罪の未然防止の推進や、教育委員会への少年補導職員の出向など連携を図ってきた。今後、いじめ防止のビデオメッセージの放映など取組を更に推進する。

その他の質問

1

阿波おどりの海外派遣について

2

指定管理者制度の見直しについて

3

あすたむらんどの魅力度向上について

4

山火事への対応について

ほか3問

動画はこちら



代表質問 9/18



いの した ひろ のり

井 下 泰 憲

自由民主党県民会議
三好第一選挙区

国際線就航の結果を踏まえたインバウンド戦略を

Q

韓国及び香港定期便の就航による経済効果を県民や観光事業者も期待。これまでの結果をしっかりと踏まえ、近隣空港の活用など、今後どのようにインバウンド誘客を進めるのか。

A

知事

誘客プロモーションの積極的展開に加え、関西国際空港等から県内を周遊する旅行商品の造成など近隣空港からの更なるインバウンド誘客を推進。観光関連事業者の受入環境整備にも取り組む。

動画はこちら



新ホール整備の再公募の方式と募集期間は

Q

本来、発注方式等の選定は、優位性や財政負担などの比較検討が必要。新ホール整備の再公募は、関係法令と照らして、適正な手法となるのか。その方式と募集期間は。

A

観光スポーツ文化部長

民間提案や官民対話による事業手法を考えている。公募期間は現在検討中であり、関係法令等を遵守し、適正に実施することはもとより、透明性と公平性を念頭に優先交渉権者を選定する。

その他の質問

1

公共事業予算の確保と技術力の維持について

2

災害に強い合併浄化槽の普及拡大に向けた取組について

3

外国資本による森林取引について

4

高校魅力化の推進等について

ほか2問

動画はこちら



代表質問 9/18



とう じょう きょう こ

東 条 恭 子

新しい県政を創る会
徳島選挙区

「女性に選ばれる徳島」の視点で男女共同参画社会の実現を

Q

女性活躍は一定の進展が見られるが、固定的な役割分担意識や男女間の経済的・社会的格差など課題が残る。施策全般に「女性に選ばれる徳島」の視点が重要だが、どう取り組むのか。

A

こども未来部長

男女がともに協力する子育て推進のため、経済・労働団体と行政が連携し、共同宣言を行った。「女性に選ばれる徳島」の視点を次期基本計画につなげ、男女共同参画社会の実現に取り組む。

その他の質問

1

新ホールについて

2

こどもの貧困対策について

3

不登校対策について

4

高齢者の孤独・孤立対策について

ほか2問

動画はこちら



普通選挙実現から100年、投票率向上に向けた取組を

Q

投票率向上に向け、若年層が政治や選挙に関心を持てる意識啓発、県民の投票意識向上に加え、期日前投票所の増設や高齢者等の移動支援など投票環境の改善や地域との連携が急務。

A

選挙管理委員会委員長

若者への主権者教育や啓発を重点的に進めるほか、有権者の利便性向上や投票所への移動が困難な高齢者等への支援など、市町村等と連携し、投票参加意識向上と参加しやすい環境づくりに努める。

その他の質問

1

新ホールについて

2

こどもの貧困対策について

3

不登校対策について

4

高齢者の孤独・孤立対策について

ほか2問

動画はこちら



一般質問 9/19



おか だ り え

岡 田 理 絵

徳島県議会自由民主党
鳴門選挙区

大鳴門橋自転車道の開通に向け、受入環境と魅力度の向上を

Q

大鳴門橋自転車道の開通効果を最大限に生かすため、鳴門公園及び周辺地域における、サイクリストや観光客の受入環境の整備、魅力度向上にどのように取り組むのか。

A

副知事

鳴門公園及び周辺地域の受入環境と魅力度の向上を図るため、「大鳴門橋自転車道デザイン会議」を立ち上げ、地域や若者、女性などの幅広い参画のもと、基本方針を年度内にまとめる。

動画はこちら



教育環境の充実を図るため、更なる住環境の整備を

Q

公立高校の特色化・魅力化の推進、学区制廃止による遠距離通学の増加への対応に加え、地域活性化の観点からも自宅から通学困難な生徒への寮をはじめとした住環境整備が必要。

A

教育長

公立高校の在り方検討会議での高校の魅力化や入試制度等の議論も踏まえつつ、県外からの生徒の受入れや県内中学生の進学動向などを十分見極めながら、必要となる住環境の整備に努める。

その他の質問

1

中小・小規模事業者への支援について

2

れんこんの生産振興について

3

中小河川の治水安全度を高める取組について

4

オロナミンC球場の利活用について

ほか1問

動画はこちら



一般質問 9/19



ふる かわ ひろ し

古 川 広 志

公明党徳島県議団
徳島選挙区

先進国の一国として、率先して地球温暖化対策を

Q

今年の猛暑や豪雨災害、食料危機の心配など、地球温暖化、気候変動の影響が顕在化し、対策は一刻の猶予もない。現状をどのように捉え、どう行動し、国に働き掛けていくのか。

A

生活環境部長

待ったなしの状況であると認識し、太陽光発電の県有施設への率先導入等を進めている。地域脱炭素の全県的展開・加速のため、市町村や事業者の取組に対する強力な後押しを国に働き掛ける。

その他の質問

1

社会保障制度改革について

2

人口減少対策について

3

平和の構築に向けた取組について

4

新ホールの整備について

ほか2問

動画はこちら



国の少子化対策の問題点を解明し早急に対応を

Q

国は様々な少子化対策を行ってきたが、昨年の合計特殊出生率は1.15まで下がっている。県として、この出生率の状況をどう捉え、国はどうすべきと考えているのか。

A

副知事

急速な少子化に歯止めが掛からない状況と認識し、不妊治療の実質無償化や男性育休取得促進等の施策を展開。国に現場の声を伝え、県独自施策への支援強化、実効性ある施策の全国展開を要望する。

その他の質問

1

社会保障制度改革について

2

人口減少対策について

3

平和の構築に向けた取組について

4

新ホールの整備について

ほか2問

動画はこちら



一般質問 9/19



おか 佑樹
真政会
徳島選挙区

徳島化製事業協業組合に対する補助金支出の有効性と必要性は

Q 他自治体ではほとんど支出されていない内容の補助金である食鳥副産物有効利用促進事業補助金を、31年もの年月にわたり、徳島化製事業協業組合に支出しているのはなぜか。

A 農林水産部長

県内養鶏産業の振興と畜産環境の保全を目的とし、食鳥副産物の適正処理に要する経費への補助金。循環型社会の実現、食の安全・安心、地場産業の保護・振興のためにも必要性・重要性は高い。



動画はこちら

新ホール建設工事における物価スライドの適用は

Q 知事は、前案の工事費用が物価スライドにより、倍になると言った。それなら、現案で示す162億円は350億円近くになる。請負契約に物価スライド条項を入れるのか。

A 観光スポーツ文化部長

公共工事の円滑な施工確保に向け、契約後の資材や労務費の高騰等の変動に備えたスライド条項を適切に設定・適用するよう国の通知もあり、契約に規定し、適用していくものと考えている。

一般質問 9/19



たつ た よし こ
日本共産党
阿南選挙区

最低賃金の引上げについて改めて中小企業アンケートを

Q 激変緩和措置として行った県の賃上げ支援金が機能したか十分検証できたのか。改めて中小企業アンケートを実施し、厳しい経営状況にある事業者の声を幅広く把握すべき。

A 生活環境部長

今年度2度実施した経営状況調査や経済団体との意見交換等を通じ状況把握に努めるとともに、^{※2}よろず支援拠点で様々な経営相談に応じるなど、きめ細やかに対応し、事業者支援へつなげている。

コメの増産に向けた後継者の育成と生産力の強化を

Q 農業従事者や耕作地が減少する中でのコメの増産は容易ではない。コメの増産に向け、後継者の育成や中山間地域の農地での生産力強化についてどのような対策を講じるのか。

A 農林水産部長

品種の転換やスマート農業技術の導入による生産性の向上に加え、農業大学校での実践教育による担い手の育成・確保、農地の大区画化などソフト・ハード両面から総合的に取り組む。



動画はこちら

その他の質問

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 消費者の米価の高騰対策について
- 3 新ホール整備計画について
- 4 学校女子トイレへの生理用品配置について

常任委員会

9月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

公安委員会関係では、徳島市論田町の機動隊舎等移転整備に関する国への要望について、**知事戦略局・企画総務部関係**では、総合県民局等の再編における新設予定の地域連携事務所及び庁舎整備の方向性について、**生活環境部・労働委員会関係**では、県内在住外国人に対する日本語教育の推進、海洋プラスチックごみ対策についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●経済委員会

観光スポーツ文化部関係では、新ホール整備に向けた事業者の再公募の概要、徳島おどりフェスタ2025について、**経済産業部関係**では、価格転嫁の現状と適正な価格転嫁に向けた事業者への支援拡大、事業承継促進月間について、**農林水産部関係**では、本県農林水産物等の輸出の状況と今後の戦略、吉野川の漁業権についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●文教厚生委員会

保健福祉部・病院局関係では、徳島県ドクターヘリが運航停止に至った背景と今後の対応、県立中央病院のクレジット後払いシステムについて、**こどもも未来部関係**では、こども家庭センター設置に向けた取組、特定免許状失効者管理システムの活用について、**教育委員会関係**では、複雑化・多様化する人権課題に対する取組についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●県土整備委員会

企業局関係では、発災時における工業用水道の速やかな給水再開に向けた対策、県営駐車場の利便性向上について、**危機管理部関係**では、県津波浸水想定を踏まえた対策、KDDI株式会社との包括連携協定について、**県土整備部関係**では、インフラの整備や維持修繕に向けた取組、特定利用港湾への追加についてなど、それぞれ質疑及び提言がありました。

●まちづくり・魅力向上対策特別委員会

新ホールの整備に関し、再公募の手法や事業者の体制、整備スケジュールやコストなどについて質疑がありました。そのほか、^{※4}鉄道高架事業の事業計画やウォーカブルなまちづくりの取組状況、「交通空白」解消に向けた取組やJR四国の路線維持に係る議論の状況、阿波おどりの海外派遣、国際定期便の航空会社との契約などについて質疑及び提言がありました。

●防災・環境対策特別委員会

国土強靱化に関し、公共事業関連予算の執行状況、予算の早期確保と執行に向けた今後の取組などについて質疑がありました。そのほか、海陽町レスキュー作戦（仮称）の策定手順と洋上からの支援の検討、津波避難タワーの現状把握、ドクターヘリの運航停止への今後の対応、木造住宅耐震化の取組状況、市町村の脱炭素の取組への支援などについて質疑及び提言がありました。

●地域活性化対策特別委員会

農業の生産性向上のための基盤整備に関し、農地中間管理機構の活用状況、基盤整備の強化に対する県の認識などについて質疑がありました。そのほか、後継者未定の農地について市町村における地域計画の策定状況と今後の具体的な方策、県過疎地域持続的発展方針〈後期方針〉の取りまとめや新たに盛り込む施策などについて質疑及び提言がありました。

●こども未来・安心対策特別委員会

認可外保育施設の保育料に関し、現状や無償化の実施時期などについて質疑がありました。そのほか、フリースクールへの支援、県立高校への出願手続の電子化、夏休み明けの不登校の状況とその対策、学びの多様化学校の対象児童の範囲、教育DXの進捗状況、県認知症施策推進計画（仮称）素案の詳細や認知症の進捗度に応じた対応などについて質疑及び提言がありました。

普通会計決算認定特別委員会

令和6年度徳島県一般会計歳入歳出決算並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について審査するため、普通会計決算認定特別委員会を設置しました。

委員長 福山 博史 **副委員長** 眞貝 浩司
委員 岡田 理絵、古野 司、北島 一人、竹内 義了
岸本 淳志、坂口 誠治、岡田 晋、川真田琢巳

企業会計決算認定特別委員会

県が行う病院事業、電気事業、工業用水道事業、土地造成事業、駐車場事業及び流域下水道事業の令和6年度決算の認定等について審査するため、企業会計決算認定特別委員会を設置しました。

委員長 原 徹臣 **副委員長** 元木 章生
委員 沢本 勝彦、木下 賢功、井川 龍二、井下 泰憲
庄野 昌彦、長池 文武、近藤 諭、梶原 一哉

用語解説

※1【QOL】 Quality of Lifeの略。生活の質のこと。

※2【よろず支援拠点】 中小企業、小規模事業者の様々な経営課題に対応するために、国が全国に設置した無料の経営相談所。徳島県は（公財）とくしま産業振興機構内に設置。

※3【特定免許状失効者管理システム】 都道府県教育委員会が入力した特定免許状失効者等（児童生徒に性暴力等を行ったことにより教員免許状が失効等した者）の情報を、各採用権者（教育委員会・国立大学法人・学校法人等）が検索・閲覧できる機能を有したシステム。

※4【交通空白】 誰もが利用できる移動手段がない又は利用しづらいなど地域交通に係る困りごとを抱える地域。

常任委員会 県内視察の概要

●経済委員会

7月22日、鳴門市のtonaru SHIMADAにおいて、施設の視察を行うとともに、tonaru SETOで徳島県の観光振興について意見交換会を行いました。



議会トピックス

- 東京都において、全国都道府県議会議長会第1回男女共同参画委員会、女性議員研究交流大会に議員が参加しました。(8月26日)
- 徳島県議会ハラスメント防止研修会を開催しました。(10月7日)

議員連盟の活動

- 教育を考える議員連盟が、学びの多様化学校について勉強会を開催しました。(8月4日)
- 四国観光議員連盟が、国土交通省に対し、四国の観光振興に関する要望を行いました。(8月21日)
- 地域公共交通・四国新幹線導入促進議員連盟が、南海フェリーの現状と課題について勉強会を開催しました。(9月11日)

大学との包括連携協定事業

徳島文理大学

- 総合政策学部生30名が、県議会の概要説明を受けた後、議場ほか議事堂の見学を行いました。(7月10日)
- 議員が大学において、総合政策学部生75名を対象に、県政に係る課題や議員活動に関する体験などについて講義を行いました。(7月15日)
- 薬学部 山本 博文 教授に「自然科学と生態系から学び・創る次世代型農林水産システム」と題して、講演していただきました。(9月11日)

四国大学

- 議員が大学において、経営情報学部生約100名と、地域の課題解決策等について意見交換を行いました。(7月28日)
- 経営情報学部生5名が県の政策過程を学ぶため、本会議代表質問の議論を傍聴しました。(9月18日)
- 9月定例会開会中(9月11日～10月7日)、議事堂1階ホールにおいて、運動部の活動を紹介するパネルを展示しました。

議会インターンシップ

- 徳島文理大学総合政策学部生3名、四国大学経営情報学部生3名が県議会の会派及び議員の活動を体験するインターンシップに参加しました。
(9月2日、5日、8日、11日、18日)



お知らせ

議会見学のご案内



議事堂を見学してみませんか。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。

TEL 088-621-3010



申込み方法等はこちら

【見学に来られた方々】

- 鳴門教育大学附属小学校 ほか

【県議会小学生社会見学ツアー参加校】

- 鳴門市里浦小学校(9月11日)
- 吉野川市立飯尾敷地小学校(9月18日)
- 阿南市立橘小学校(9月19日)



詳しくはこちら

本会議傍聴・委員会視聴の御案内

本会議は傍聴、常任・特別委員会はテレビモニターで視聴することができます。また、本会議開催日は、未就学児の託児サービス(事前申込み要)も行っています。



本会議傍聴



託児サービス



委員会視聴

県議会 令和7年11月定例会の日程

- 11月25日……………常任委員会
- 11月26、27日……………特別委員会
- 11月28日……………本会議(開会)
- 12月3日……………本会議(代表質問)
- 12月4日、5日……………本会議(一般質問)
- 12月9～12日……………常任委員会
- 12月15、16日……………特別委員会
- 12月19日……………本会議(閉会)

※日程は予定であり、変更する場合があります。

書道パフォーマンス

四国大学生による書道パフォーマンスを開催します。ぜひ、お越しください。

日時 12月18日(木) 12:15～12:45
場所 議事堂ホール



昨年の様子

子ども模擬議会体験

実際に議場で本会議の模擬体験ができる「子ども模擬議会」を実施しました。

鳴門教育大学附属小学校の皆さんが議会事務局から議会の概要について説明を受けた後、議員役と知事役(県幹部役)に分かれ、「県政に関する一般質問」と「採決」を体験されました。



小学生の皆さんより

- ・議長席に座ったが、全体が自分に注目していると思うと、とても緊張しました。
- ・議員さんが徳島県をより良くしようと話し合っていることに気づくことができました。

中学生県議会セミナー

10月3日、鳴門市第二中学校において、議員2名が県議会の仕組みや議員の仕事について、授業を行いました。



中学生の皆さんより

- ・議員さんの県を変えたいという熱い気持ちがとても伝わりました。
- ・県議会の進め方や議会の権限など知ることができ、公民をもっと勉強してみたいという意欲が強くなりました。
- ・今、自分が地域や学校のためにできることについて真剣に考えようと思いました。
- ・18歳になる3年後には、積極的に選挙に参加して自分の意見を伝えたいです。

議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、徳島県立博物館〈常設展〉、近代美術館〈所蔵作品展〉、鳥居龍蔵記念博物館〈常設展〉「各館の招待券(各2枚)」と「すだちくんマスコット」をプレゼントいたします。



(高さ約12cm ボールチェーン付き)

Q 県議会では、災害等の危機に強い議会の実現と議員活動の充実・強化のため、ICTの積極的な活用により〇〇を推進しています。さて、〇〇とは次の3つのうちのどれでしょう。

- 1 DX
- 2 GX
- 3 SX

ヒントは紙面上にあります!

応募方法

はがき 電子メール 応募フォーム のいずれかで、クイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。

応募先

〒770-8570(住所記入不要)
徳島県議会事務局 政策調査課
✉ tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.lg.jp

応募フォームはこちら



締切

令和7年12月19日(金) (はがきの場合は消印有効)
(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)
※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

徳島の自然・歴史・文化を楽しく学べる博物館、徳島ゆかりの美術作品をはじめ、「人間」を主題とする作品を展示し、誰もが楽しめる美術館、徳島県が生んだ人類学・考古学・民族学の先駆者の偉業を伝える鳥居龍蔵記念博物館を巡ってみませんか。

